

令和4年9月28日

保護者 様

浜松市立西小学校長 青島 治道

## 全国学力・学習状況調査の分析と報告について

清秋の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は学校の教育活動に多大な御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、4月下旬に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受け、本校6年生の学習状況の分析や対策の検討結果について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 学習状況について 【資料1参照】

今年度の西小の6年生は、国語・算数・理科の平均正答率が、ともに全国平均及び静岡県平均、浜松市平均を上回りました。子供たちはよく頑張りました。それは、5年生までの積み重ねはもちろん、家庭学習にも真剣に取り組んできた結果と言えます。保護者の皆様の御協力に感謝いたします。

#### 2 児童質問紙（意識調査）について 【資料2参照】

児童質問紙では、生活の諸側面や学習意欲、学習に対する興味・関心などが調査されました。西小の児童は、基本的な生活習慣が身に付いており、規範意識を高く持ってまじめに生活していることが分かりました。一方、意欲面で控え目な傾向が見られ、与えられたことに対しては一生懸命取り組むけれど、自分から課題を見つけ、追究することが苦手なようです。子供たちのよさを積極的に認め、励ましながら、家庭・地域・学校と連携を図って教育活動を進めていきたいと思えます。



調査問題は、以下のURLから閲覧できます。

令和4年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料

国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

**6年生については、お子さんを通して全国学力・学習状況調査の個別の「調査結果」をお渡ししました。今後、家庭学習の進め方を考える際にお役立てください。**

国語

◎ 多くの問題で正答率が全国や静岡県、浜松市を上回っている。

○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全領域で、全国に比べて良好な結果が見られた。

▲漢字や表現の技法、引用の仕方の知識に関する内容に課題が見られた。

文の意味を考え、適切な漢字を書く…「録画」「反省」「親しむ」

▲記述式の問題への無回答率が全国や県に比べて高かった。

**小国課題 3** 二 自分の文章のよいところを見付けること

正答率 浜松 38.4% 全国 37.7% 無解答率 浜松 17.2% 全国 14.5%

【伝え合いの様子の一部】の内容を踏まえず、【文章】の言葉だけに注目している。また、【文章】のよさを考えることができて言葉に表せない可能性がある。



先生

【授業改善のポイント】

国語の授業中を含む、様々な場面で、推敲、共有を日常的に行い、自分の文章を読み返したり、互いの文章に対する感想や意見を伝え合ったりする経験を積み重ねていく。

さらに、自分の文章のよさを見付ける態度を習慣化する。

【問題】

島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。

島谷さんは川口さんと、【文章】を読み合い、感想を伝え合いました。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさを振り返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。

算数

◎ ほとんどの問題で正答率が全国や静岡県、浜松市を上回っている。

○「数と計算」「図形」「データの活用」の領域で安定した力が付いている。

▲割合を日常の具体的な場面に活用することに課題が見られた。

●解決の方法を見通し、確かめ、考えを再構成する力を育成する必要がある。

**小算課題 2** 二つの数量の関係について考察すること

正答率 (3)浜松 20.8% 全国 21.4% (4)浜松 48.8% 全国 48.0%

百分率が何を表しているか、理解できていない。また、問題解決に比例の関係を使うことにも課題がある。



先生

【授業改善のポイント】

実物を使ったり生活経験を想起させたりすることで、割合について実感的に理解できるようにすることが大切である。数量の関係を捉える場面では、複線図やテープ図など自分にとって分かりやすい図をかき、式と合わせて考えられるようにしていく必要がある。

割合が一定の場合、比較量が2倍、3倍…になると基準量も2倍、3倍…になるなど、2つともなって変わる量の関係について、図や表など多様な方法を使って考える活動を取り入れる。

(3)りんごの果汁が20%含まれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、



上の□にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

(4)果汁の量が180mLのときの飲み物の量は、何mLになりますか。180mLが30mLの何倍かをどのように求めたかがわかるように書きましょう。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

Diagram showing arrows between 30 and 180 labeled '□倍', and between 100 and ? labeled '□倍'.

◎ 多くの問題で正答率が全国や静岡県、浜松市を上回っている。

○問題を解決するまでの道筋を構想したり、実験の過程や得られた結果を適切に記録したりすることについて良好な結果が見られた。

▲自然の事物・現象から得た情報や実験で得た結果について、他社の視点で分析・解釈し、その内容を基に記述することに課題が見られた。

小理課題 3 (4) 実験で得た結果を問題の視点で分析・解釈すること

正答率 浜松 30.2% 全国 35.1%

時間や温度の変化を記述していない子供が多い。具体的な数値や分析した内容に基づいて、課題に正対したまとめを記述することに課題がある。



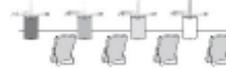
先生

【授業改善のポイント】

観察、実験の際に、結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として記述する場面を設定することが必要である。その場面において、課題に正対したまとめにするために、結果の何に注目すれば根拠となるか考え、話し合いながらまとめを記述する場面を設定することが考えられる。

【実験方法】

同じ種類、同じ大きさの缶にそれぞれ4色の色をぬり、同じ量の水を入れ、筒ではね返した日光をあて、0分と一定時間後の缶の中の水の温度をはかる。



【結果】

〈缶の色による水の温度の変化〉

時間 かんの色	0分	20分後	40分後
黒	24℃	28℃	32℃
赤	24℃	27℃	29℃
青	24℃	27℃	30℃
白	24℃	25℃	26℃

「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。



はなこさん

はなこさんが、下線部のようにまとめたわけを上【結果】を使って書きましょう。

## <対策について>

- 漢字や計算など基礎基本の定着を一層図るために、授業や家庭学習で練習するとともに、日常生活の場面で適切に活用できるようにする。
- 各教科の学習において、言語活動を適切に位置づけ、読み取ったこと、分かったことなどを自分の言葉で書く活動を意図的に設ける。
- 授業の様々な場面で ICT 機器を活用する。
- 国語科では、意見文などを書く際に、自分の考えを支える根拠として資料を適切に引用することなどができるようにする。
- 算数科では、目的に応じて、必要なデータを収集し、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して考察できるようにする。
- 理科では、自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気づきを基に差異点や共通点を捉え、問題を見いだす場面を設定できるようにする。

## 【資料2】

○…全国を上回る ▲…全国を下回る  
 (「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた割合%)

設 問	西 小	全 国
朝食を毎日食べていますか。	○100	94.4
自分には、よいところがあると思いますか。	○79.6	79.3
将来の夢や目標を持っていますか。	○87.1	79.8
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	▲68.5	72.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	○100	95.1
学校に行くのは楽しいと思いますか。	○88.9	85.4
友達と協力するのは楽しいと思いますか。	○98.1	94.0
読書は好きですか。	▲59.2	73.1
自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。	▲57.4	65.1
国語の勉強は好きですか。	▲44.5	59.2
国語の勉強は大切だと思いますか。	▲92.6	93.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	○94.5	91.8
算数の勉強は好きですか。	○64.8	62.5
算数の勉強は大切だと思いますか。	▲92.6	94.2
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	▲75.9	93.3
理科の勉強は好きですか。	▲72.2	79.7
理科の勉強は大切だと思いますか。	▲79.6	86.5
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	▲74.0	77.2

☆「自分には、よいところがあると思う」児童の割合は、全国平均とほぼ同割合で、自己肯定感が高まっていることが分かります。また、「夢や目標を持って生活している」児童や「人の役に立つ人間になりたい」児童も多く、コロナ禍で制限が多い生活の中、前向きな気持ちをもって日々成長していることを嬉しく思います。

☆「学校に行くのは楽しい」「友達と協力するのは楽しい」児童の割合は、全国平均を上回っています。充実した学校生活を送り、満足感を得ていることがうかがえます。

★国語、算数、理科の勉強は大切で、将来社会に出たときに役に立つと考えている児童は多くいるものの、「好き」と言える児童が少ないことは残念です。より一層、学習を自分事として捉えられる「分かる・楽しい授業」の展開に努めていきます。また、すべての教育活動を通して、自分の学びの成長を実感できるよう振り返りの充実を図っていきます。